


総論

1) 高次脳機能障害とは

高次脳機能障害とは、病気や事故などのさまざまな原因で脳が部分的に損傷されたために、言語・思考・記憶・行為・学習・注意などの知的な機能に障害が起きた状態を指します。注意力や集中力の低下、比較的古い記憶は保たれているのに新しいことが覚えられない、感情や行動の抑制がきかなくなるなどの精神・心理的症状が出現し、周囲の状況にあった適切な行動が選べなくなり、生活に支障をきたすようになります。

2) 高次脳機能障害と間違えられやすい状態

高次脳機能障害と間違えられやすい脳の全般的な障害としてせん妄と認知症があげられます。

○せん妄：

せん妄状態とは、軽い意識障害（注意力の散漫となってあらわれる）、幻覚と運動不穏（落ち着きのなさ）を伴い、落ち着かずに歩きまわ

ったり大声で泣いたり怒鳴ったりする状態を指します。高齢者では夜間に増悪することが多く、診断されれば回復可能な状態です。

○認知症：

認知症とは「発達期以降に生じた脳障害のために全般的に知的能力が低下し、日常生活に支障をきたすようになった状態」です。認知症では記憶障害が認められます。しかしそれだけではなく、時間や場所に対する見当識（認識）が障害されてきます。さらに仕事や日常生活場面で判断を求められると、その判断が適切でなくなってきました。したがって、今まで行なってきた仕事を続けられなくなったり、いままで興味があった趣味などに対する関心も失われてきます。

3) 高次脳機能障害の特徴

高次脳機能障害は、前述のように精神・心理面での障害が中心となります。したがって以下の三つの特徴があります。

(ア) 外見上は障害が目立たない。

(イ) 本人自身も障害を十分に認識できていないことがある。

(ウ) 障害は、診察場面や入院生活よりも在宅での日常生活、とくに社会活動場面（職場、学校、買い物、役所や銀行の手続き、交通機関の利用など）で出現しやすいため、医療スタッフに見落とされやすい。

4) 高次脳機能障害を引き起こす疾患と主な症状

高次脳機能障害は、脳血管障害はもとより頭部外傷、感染、中毒疾患などのさまざまな疾患で引き起こされます。因疾患の80%を脳血管障害が占め、ついで頭部外傷が10%となります。

高次脳機能障害のなかで最も多く現れる症状は失語症（57%）で、ついで注意障害（30%）、記憶障害（26%）となります。

5) 高次脳機能障害者数について

東京都内の18歳から64歳までの高次脳機能障害者は約4,200人、人口10万人あたりでは51人と推定されます。年齢は平均49.7歳で70%が男性です。

年齢別の特徴は発症時の年齢が若いほど頭部外傷が多く、年齢が高くなるにつれて脳血管障害の割合が増加していきます。

6) 高次脳機能障害者の生活実態

高次脳機能障害者は身体の障害が軽度であるため、「食事」「トイレを使う」「家の中の移動」などの基本的な日常生活活動は自立している（70%以上）ものの、「外出」「買い物」「銀行・役所の仕事」「金銭の管理」などの社会的な活動の障害が著明です。特にその中で「銀行・役所の仕事」や「金銭の管理」が困難となります。

高次脳機能障害者の主な外出先は病院（73%）やコンビニエンスストア（40%）であり、勤務先（18%）、学校（1.8%）、授産所（0.9%）、通所作業所（6.4%）を大きく上回っています。普段の過ごし方もテレビ（81%）、通院（57%）が多く社会と接点の少ない暮らしぶりが特徴です。

7) 高次脳機能障害を疑うとき

以下に高次脳機能障害が疑われるときの診断の手順を示します。

まず、せん妄や認知症（前述）などの全般的な障害を除外し、症状から各障害を検討していきます。

高次脳機能障害

（主な症状）

◎滑らかにしゃべれない。

→→→→→失語症

相手の話を理解できない。

字の読み書きができない。

◎作業にミスが多い。

気が散りやすい。

→→→→→注意障害

◎物の置き場所を忘れる。

→→→→→記憶障害

何度も同じことを話したり質問する。

◎気持ちが沈みがちだ。

→→→→→行動と情緒の障害

突然興奮したり、怒りだす。

気持ちが動揺する。

◎片側を見落としやすい。

→→→→→半側空間無視

片側にあるものにぶつかりやすい。

◎行き当たりばったりの行動をする。

→→→→→遂行機能障害

ひとつひとつ指示されないと行動できない。

◎道具がうまくつかえない。

→→→→→失行症

動作がぎこちなく、うまくできない。

◎麻痺した手足がないようにふるまう。

→→→→→半側身体失認

麻痺がないようにふるまう。

麻痺がなくても片側の身体を使わない。

◎自宅でトイレに迷う。

→→→→→地誌的障害

近所で道に迷う。

◎物の形（色）がわからない

→→→→→失認症

人の顔がわからない、見分けられない